

# 時系列別 チェックリスト

■	チェックリスト 1	概ね災害発生後24時間以内	48 P
■	チェックリスト 2	概ね災害発生後72時間以内	49 P
■	チェックリスト 3	概ね4日目から2週間まで	50 P
■	チェックリスト 4	概ね3週間目から2か月まで	51 P
■	チェックリスト 5	概ね2か月以降	52 P

## チェックリスト1：概ね災害発生後24時間以内(初動体制の確立)

被災市町村		
1	状況把握	<input type="checkbox"/> 被災者数、避難施設、ライフラインの被害状況(電気、ガス、水道、道路等)、被災者への食支援状況、市町村管理栄養士等の栄養・食生活支援活動担当者の安否等について把握する
2	災害時要配慮者の把握準備	<input type="checkbox"/> 保健師等と連携し、避難所受付名簿又は避難住民への呼びかけ等で情報収集を行い、食事に配慮が必要な人の把握に努める準備を行う
3	栄養・食生活支援体制整備	<input type="checkbox"/> 備蓄食品を活用した食料、飲料水の確保を支援する
		<input type="checkbox"/> できるだけ早い段階で栄養・食生活支援計画について検討し、食料供給ができる体制整備に努める(食料、飲料水、特別用途食品等の確保、食料供給体制の整備、人材確保等)
4	食料・人材の支援要請	<input type="checkbox"/> 食料及び人材確保が困難な場合は、市町村災害対策本部等に相談・要請する
被災地保健所		
1	状況把握・情報整理	<input type="checkbox"/> 被災地の状況(被災者数、ライフラインの被害状況、被災者への食支援状況、市町村管理栄養士等の安否状況等)を確認し、県健康増進課へ報告する
2	市町村体制整備の支援	<input type="checkbox"/> 状況把握の結果から、市町村と栄養・食生活支援の必要性及び実施内容について検討する
3	給食施設への支援	<input type="checkbox"/> 1日3食提供施設を優先し所内の医療・福祉担当者と連携し、必要な情報は県へ報告する
4	人員・活動調整の準備	<input type="checkbox"/> 栄養チームの編成に必要な人員・活動調整として、市町村からの栄養・食生活支援活動に係る応援要請に備えて、受入の準備を行う
県健康増進課		
1	状況把握・関係部署との連携	<input type="checkbox"/> 災害対策本部及び保健所からの被害状況等の情報通じて被災地の状況及び現在の対応状況を把握するとともに、食料供給担当課等の庁内関係部署からの情報を収集し連携を図る
2	栄養・食生活支援体制整備	<input type="checkbox"/> 特別用途食品等の手配について食料供給担当課と連携の上、検討する
3	給食施設への支援	<input type="checkbox"/> 被災状況や支援要請内容等に対応するため、県災害対策本部や関係部署等と連絡調整を行う
4	人員調整	<input type="checkbox"/> 被災地の状況により栄養チームの編成が必要となった場合は、派遣計画を立案の上で関係機関等へ派遣要請を行う
被災給食施設		
1	被災状況把握	<input type="checkbox"/> ライフライン、食材、備蓄食品や物品の状況、施設や厨房の損壊状況、食事の配膳ルート、通信手段、職員の被災状況、市町村災害対策本部設置状況等を確認し、関係機関へ報告する
2	備蓄食品等を活用した食事提供	<input type="checkbox"/> 災害発生初期は、冷蔵庫や冷凍庫内の在庫食品も使用可能であれば活用する
		<input type="checkbox"/> 必要な食材業者へ納入の可否も含めて連絡を取り、状況を把握する
		<input type="checkbox"/> 被害状況に応じて調理・配食作業の環境を整備し、提供可能な献立(平常時から準備)を作成の上、食事提供に努める
		<input type="checkbox"/> 1食でも食事を出した場合は、災害時給食日誌を用いて記録する
3	物的・人的支援要請	<input type="checkbox"/> 食料、飲料水、熱源、給食を提供するための人材等が不足する場合は、給食施設相互の支援体制を活用した上で、市町村災害対策本部等に要請する
		<input type="checkbox"/> 調理従事者を受け入れる場合は、受け入れる者の健康状況を確認する
		<input type="checkbox"/> 食事提供を継続する上で後方支援が必要な場合は、保健所へ相談する

## チェックリスト2：概ね災害発生後72時間以内（緊急対策）

被災市町村		
1	状況把握	<input type="checkbox"/> 被災者数、避難施設、ライフラインの被害状況、被災者への食支援(自衛隊支援や災害救助物資、義援食品等)状況を確認する
2	災害時要配慮者への確実な対応	<input type="checkbox"/> 巡回栄養相談等を開始し、避難所における食事に対する要配慮者(食物アレルギー・生活習慣病等)を把握し、特別用途食品等の入手等、的確に要配慮者に供給できる体制づくりを行う
		<input type="checkbox"/> 食事で困っている人は、避難所職員に申し出るよう掲示板等にチラシ等で周知する
3	食料供給体制の整備	<input type="checkbox"/> 炊き出しが可能な場合は、情報収集に努め、炊き出し従事者の人数、供給可能な対象数と内容等を把握し、自衛隊支援活動の状況把握、災害救助物資、義援食品等の状況を把握する
4	栄養指導用チラシ等の作成・配布	<input type="checkbox"/> 避難所での食事のポイント、便秘予防、水分補給、食中毒予防等のチラシを配布・掲示する
5	避難所における巡回栄養相談の計画	<input type="checkbox"/> 栄養面の偏りによる被災者の健康状態の悪化が考えられる場合は、巡回栄養相談を計画する
6	食料・人材の支援要請	<input type="checkbox"/> 食料及び人材確保が困難な場合は、市町村災害対策本部等に相談・要請する
被災地保健所		
1	状況把握・情報整理	<input type="checkbox"/> 避難所の食支援状況、災害時要配慮者への食支援状況を確認し、県健康増進課へ報告する
2	人員・活動調整の準備	<input type="checkbox"/> 応援を受け入れる場合は、受入に必要な体制を整えとともに、県健康増進課へ人員要請を行う
3	市町村と連携した栄養・食生活支援体制整備	<input type="checkbox"/> 食料供給体制の整備(炊き出し体制づくり等を含む)実施を支援する
		<input type="checkbox"/> 栄養指導用チラシ等の作成・配布を支援する
		<input type="checkbox"/> 避難所における巡回栄養相談の計画を支援する
4	災害時要配慮者への確実な対応	<input type="checkbox"/> 特別用途食品等が必要な被災者への対応について市町村や県健康増進課と協議・検討する
5	給食施設への支援	<input type="checkbox"/> 栄養チーム設置後、速やかに対応するために、支援要請のある施設及び連絡がとれない施設等を優先した巡回計画を立てる
		<input type="checkbox"/> 市町村によっては、学校が避難所として指定され、一般被災住民に炊き出しを行う施設もあるので、必要に応じて炊き出しの栄養管理について助言を行う
県健康増進課		
1	状況把握・関係部署との連携	<input type="checkbox"/> 災害対策本部及び保健所からの被害状況等の情報を通じて被災地の状況及び現在の対応状況を把握するとともに、食料供給担当課等の庁内関係部署からの情報を収集し連携を図る
2	人員調整	<input type="checkbox"/> 被害の規模に応じて厚生労働省を通じて他都道府県へ、(公社)徳島県栄養士会を通じて、(公社)日本栄養士会へ派遣要請を行う
3	被災者への栄養・食生活支援体制整備	<input type="checkbox"/> 特別用途食品等の手配について食料供給担当課と連携の上、検討する
		<input type="checkbox"/> 栄養相談に必要なチラシの作成、配布の支援を行う
4	給食施設への支援	<input type="checkbox"/> 引き続き保健所からの報告を受け、必要な支援方法を検討するとともに、学校や保育所等の主管課と連携し、炊き出しの実施状況等を確認する
被災給食施設		
1	被災状況把握	<input type="checkbox"/> ライフラインの復旧状況を確認し、給食の早期平常化に向け、調理器具の修理、ガス管、水道管等を含め点検を行い、今後の修理計画を検討する
2	備蓄食品等を活用した食事提供	<input type="checkbox"/> 備蓄食品の使用、炊き出し等も含め被害状況に合わせた食事提供に努めるとともに、温かい食事の提供、衛生管理に配慮する
3	物的・人的支援要請	<input type="checkbox"/> ※ 前ステージに引き続き、継続する

## チェックリスト3：概ね4日目から2週間まで（応急対策）

### 被災市町村

1	状況把握	<input type="checkbox"/>	避難所生活者数、ライフラインの復旧状況、食支援状況等を確認する
2	災害時要配慮者への確実な対応	<input type="checkbox"/>	個性が高いので、避難所の担当保健師等と連携し、継続した支援ができるよう調整する
3	食料供給体制の整備	<input type="checkbox"/>	炊き出しの実施と栄養管理においては、炊き出しの献立は、救援物資の活用を図るとともに不足しがちな食品の摂取や栄養状態の向上、適温の食事等ができるよう検討する
		<input type="checkbox"/>	炊き出し困難な避難所については、弁当の配食を進める
4	巡回栄養相談の実施（在宅含む）	<input type="checkbox"/>	避難している間に食支援が必要になった被災住民に対しても要配慮者同様に対応する
5	避難所食事状況調査の実施と改善指導	<input type="checkbox"/>	避難生活の長期化を視野に入れ、必要な栄養量の確保のため安定的な食事提供の体制づくりに努めるとともに、地域や避難所で供給する食事内容を確認し、必要な栄養量の確保に努めるための改善指導を実施する
6	栄養チームの活動調整	<input type="checkbox"/>	派遣された栄養チームが、効果的に迅速な支援活動ができるよう保健所と連携し、活動内容の説明を行い、間断のないきめ細かな連携を図るようにする

### 被災地保健所

1	状況把握及び報告	<input type="checkbox"/>	避難所生活者数、ライフラインの復旧状況、食支援状況等を確認し、報告する
2	栄養チームの設置	<input type="checkbox"/>	被災地の状況から避難所等での栄養管理が困難な場合や栄養相談等の必要がある場合に応じて、活動支援拠点または活動拠点に栄養チームを設置する
		<input type="checkbox"/>	県健康増進課へ必要な人員要請を行う
3	栄養チームによる支援 <small>（被災者、給食施設への栄養・食生活支援体制整備）</small>	<input type="checkbox"/>	適正な食生活を維持するための食料確保を調整する
		<input type="checkbox"/>	保健衛生チーム等と連携し栄養・食生活支援情報を分析し各コーディネーターにつなげる
		<input type="checkbox"/>	現地活動班を構成し、必要に応じて被災市町村等と連携し、栄養・食生活支援活動を行う
		<input type="checkbox"/>	避難所の食事調査情報を集計し、県へ報告するとともに、改善案を提案する
		<input type="checkbox"/>	給食施設における食事提供が早期に回復されるための後方支援を行う

### 県健康増進課

1	状況把握・関係部署との連携	<input type="checkbox"/>	※ 前ステージに引き続き、継続する
2	人員調整	<input type="checkbox"/>	※ 前ステージに引き続き、継続する
3	被災者への栄養・食生活支援体制整備	<input type="checkbox"/>	特別用途食品等の手配について食料供給担当課と連携の上、検討する
		<input type="checkbox"/>	避難所食事状況調査の計画と総合評価を行う
		<input type="checkbox"/>	食品関係団体等と連携した避難所等での弁当提供について検討する
4	給食施設への支援	<input type="checkbox"/>	被災状況や支援要請内容等に対応するため、県災害対策本部や関係部署等と連絡調整を行う
5	被災者等栄養・食生活支援の施策化・予算措置	<input type="checkbox"/>	長期化が予測される場合は、対策を施策化するとともに、実施のための財源を確保する

### 被災給食施設

1	給食利用者の健康状況の把握と対応	<input type="checkbox"/>	関係職員と連携を図り、給食利用者の健康状況を把握し対応する
		<input type="checkbox"/>	災害の復旧状況に応じた食事提供に努め、徐々に通常の食事に近づける
		<input type="checkbox"/>	適温食となるよう配慮する
2	通常の食事提供再開に向けた調整	<input type="checkbox"/>	ライフライン復旧情報収集、食材納入ルートの確認、調理スタッフの調整等を行う
		<input type="checkbox"/>	施設設備や厨房器具のハード面について再点検を行い、修理計画を検討する
3	物的・人的支援要請	<input type="checkbox"/>	※ 前ステージに引き続き、継続する

## チェックリスト4：概ね3週間目から2か月まで（応急対策）

被災市町村		
1	状況把握	<input type="checkbox"/> ※ 前ステージに引き続き実施し、状況変化を確認する
2	災害時要配慮者への確実な対応	<input type="checkbox"/> ※ 前ステージに引き続き、継続する
3	食料供給体制の整備	<input type="checkbox"/> 救援物資のおにぎり、パン類等が余剰気味となり、野菜やたんぱく源が不足傾向にあるため、主食、主菜、副菜がそろい、量が調整できる体制を整える
4	巡回栄養相談の実施（在宅含む）	<input type="checkbox"/> 慣れない避難所生活から起こる慢性疲労や体調不良者の増加、精神的なダメージ等から便秘、口内炎、食欲不振等の症状がみられるため注意する
		<input type="checkbox"/> 相談状況を踏まえ、必要に応じて避難所の食料供給担当者に報告するとともに、避難所の食料供給状況を考慮した食品の提供について、助言を行う
5	避難所食事状況調査の実施と改善指導	<input type="checkbox"/> たんぱく質、ビタミン、ミネラルが不足の傾向があり、供給する食事が栄養基準を満たしているか、避難所により格差がないか等、把握する
6	仮設住宅移行に伴う自立食生活支援	<input type="checkbox"/> 避難所生活の長期化が予測される場合には、避難所の調理スペースの確保等を市町村対策本部と調整し避難所全体や家族単位で調理できるよう早期の食生活自立にむけての支援を行う
		<input type="checkbox"/> 入手しやすい食材を使った簡単料理を紹介する等の支援を行う
被災地保健所		
1	状況把握・情報整理	<input type="checkbox"/> 避難所の食支援状況、災害時要配慮者への食支援状況を確認し、報告する
2	栄養チームによる支援 <small>（被災者、給食施設への栄養・食生活支援体制整備）</small>	<input type="checkbox"/> 仮設住宅移行に伴う自立食生活支援として、手軽にできる献立の調理実習について、市町村と検討する。
		<input type="checkbox"/> 被災給食施設巡回、後方支援により、喫食者の健康や栄養状態に対応した食事計画となるよう助言する
		<input type="checkbox"/> 市町村によっては、学校等で一般被災住民に炊き出しを実施している場合は、必要に応じて炊き出しの栄養管理についても助言を行う
県健康増進課		
1	状況把握・情報整理	<input type="checkbox"/> ※ 前ステージに引き続き、継続する
2	人員調整	<input type="checkbox"/> ※ 前ステージに引き続き、継続する
3	栄養・食生活支援体制整備	<input type="checkbox"/> ※ 前ステージに引き続き、継続する
4	給食施設への支援	<input type="checkbox"/> 通常給食にむけた復旧準備が始まる時期であることから、被災状況や支援要請内容等に対応するため、県災害対策本部や関係部署等と連絡調整を行う
5	被災者等栄養・食生活支援の施策化・予算措置	<input type="checkbox"/> 長期化が予測される場合は、避難所食事状況調査等の結果を踏まえて、対策を施策化するとともに、実施のための財源を確保する
6	栄養・食生活支援関係団体等連絡調整会議の開催	<input type="checkbox"/> 食支援の長期化が予測される場合、関係団体等との連絡調整会議を開催し、共通認識を形成し、役割に応じた支援を要請する。
被災給食施設		
※ チェックリスト 3を継続		
1	給食利用者の健康状況の把握と対応	<input type="checkbox"/> 関係職員と連携を図り、給食利用者の健康状況を把握し対応する
		<input type="checkbox"/> 災害の復旧状況に応じた食事提供に努め、徐々に通常の食事に近づける
		<input type="checkbox"/> 適温食となるよう配慮する
2	通常の食事提供再開に向けた調整	<input type="checkbox"/> ライフライン復旧情報収集、食材納入ルートの確認、調理スタッフの調整等を行い、施設設備や厨房器具のハード面での点検を行い、修理計画を検討する。
3	物的・人的支援要請	<input type="checkbox"/> ※ 前ステージに引き続き、継続する

## チェックリスト5：概ね2か月以降（復旧・復興対策）

### 被災市町村

1	食生活環境の把握	<input type="checkbox"/>	仮設住宅及び被災住宅の状況（入居世帯数，調理設備の状況，食生活状況）等を把握し，必要な支援を調整する
		<input type="checkbox"/>	地域の食料供給源の状況（スーパーマーケット，コンビニエンスストア，個人商店，移動販売等）を把握し，必要な支援を調整する
2	被災者への食支援	<input type="checkbox"/>	配食から自立調理へ調理意欲の喚起が図られるように食生活支援を行う
		<input type="checkbox"/>	災害時要配慮者の移住先を把握しておく
3	訪問栄養指導及び食生活相談	<input type="checkbox"/>	避難所等で食生活相談を実施した対象者を中心に，訪問栄養指導計画を保健師等と連携して作成し，調理環境や食料入手ルートの変化等を考慮した訪問栄養指導を実施する
		<input type="checkbox"/>	集会施設を利用した食生活相談や食事会，料理のデモンストレーションを行う等の支援を通じて食生活への意識向上や調理意欲の喚起を図るとともに，連帯感や仲間づくりにつなげる
4	活動の評価	<input type="checkbox"/>	関係機関等と情報を共有し，活動について検証・評価し，見直しを図る

### 被災地保健所

1	状況把握及び情報提供	<input type="checkbox"/>	仮設住宅入居後の問題点や要望等について調査や訪問等から把握し，復興期における被災地の支援体制について検討し，県健康増進課へ報告する
2	栄養チームによる支援 <small>（被災者，給食施設への栄養・食生活支援体制整備）</small>	<input type="checkbox"/>	配食から自立調理へ調理意欲の喚起が図られるよう市町村が行う食生活自立支援を支援する
		<input type="checkbox"/>	仮設住宅等における訪問栄養指導等への助言・支援を行う
		<input type="checkbox"/>	食生活実態調査等から被災地の栄養・食生活の状況を把握し，県健康増進課へ報告する
		<input type="checkbox"/>	通常業務再開への支援を行う
3	活動の評価	<input type="checkbox"/>	関係機関等と情報を共有し，活動について検証・評価し，見直しを図る

### 県健康増進課

1	状況把握・関係部署との連携	<input type="checkbox"/>	仮設住宅入居後の問題点や住民の要望や栄養・食生活支援の実施状況について把握し，引き続き復興期における被災地の支援体制について検討する
2	人員調整	<input type="checkbox"/>	派遣管理栄養士等の活動の収束化及び終了の意思決定，終了後の総括を行う
3	食事状況調査の計画及び調整	<input type="checkbox"/>	保健所と連携し今後の対策への基礎資料を得るため，被災者の食生活実態調査を計画し，実施のための調整を行う
4	災害対策マニュアル及び体制の評価・改善	<input type="checkbox"/>	関係機関等と情報を共有し，活動について検証・評価し，マニュアルの見直しを実施する

### 被災給食施設

1	給食利用者の健康状況の把握と対応	<input type="checkbox"/>	ライフラインや施設の復旧により通常の給食実施となる
		<input type="checkbox"/>	給食利用者の健康状況の把握・対応を継続し，栄養状況の早期適正化を図る
2	通常の食事提供再開に向けた調整	<input type="checkbox"/>	ハード面で長期的に修繕が必要な場合は計画的に実施する
3	施設内マニュアルに基づく対応状況の検証	<input type="checkbox"/>	災害対策が落ち着いたら給食日誌等で状況を振り返り，施設内マニュアルに基づく対応状況を検証し，対応について見直しを行う